

定例自然観察会実施報告書

2024年10月18日

実施日 2024年10月12日(土) 天候 晴れ
テーマ 須磨・淡路島の眺望を楽しもう
コース 山電須磨浦公園駅～鉢伏山～旗振り山～鉄拐山分岐～妙見堂跡署名所～須磨駅公園
集合 10:00 山電須磨浦公園駅前
解散 14:30 須磨駅近辺公園
参加者 ビジター45名 会員23名(内5班20名)

須磨浦公園は兵庫県下でも桜の名所であり、古く源平合戦一の谷の戦いや名立たる歌人が訪れた場所、山に登ると眼下に大阪湾、淡路島、遠くに紀淡海峡、東は大阪平野、生駒山などの山並み、西は播州平野や家島、北は雄岡山、雌岡山方面が一望出来るところです。

今回の観察会は須磨浦公園内の桜公園で受付を行い、鉢伏山、旗振り山から六甲山全山縦走コースを歩き妙見堂跡を通して須磨駅に通じるコースで行いました。

今回の観察会テーマは「須磨・淡路島の眺望を楽しみながら特有の海岸性植物を観察する」ことです。ビジターの参加者は45名(神戸市内26名、西宮・姫路・大阪19名)、5班体制でスタートしました。



桜公園から敦盛橋を渡ると鉢伏山への石畳の登山道を歩きます。公園にはソメイヨシノのほか植樹あるいは自生した常緑の海岸性植物のシャリンバイ、シャシャンボ、ヤマモモ、ヒメユズリハなどの樹木が多く見られます。この時期、樹木も結実の時期を迎えていて特にシャシャンボ、ムクノキは多くの実を見つけましたが熟すまでは至っていませんでした。この日は気温が30度を超え夏日でした。観察には水分補給を登山道の休憩所で取る必要がありました。



登山道を行くとネズミモチ、ネジキ、アベマキなどが多くなり、ウバメガシの林の中を歩きます。その林の隙間から海に浮かぶ兵庫海苔の養殖風景が見え、兵庫海苔の養殖方式が有明海苔と違う点や海苔の特別な収穫方法などの説明をして涼やかな風を感じていただきました。その後、ウバメガシの林を抜け東屋に出ると周りはアベマキ、クマノミズキ、ヌルデ、アカメガシワとウバメガシがあります。ロープウェイ上駅で一時眺望を見て、鉢伏山山頂（天望閣）に着き昼休みとなりました。

昼食後、ビジターを天望閣へ案内し、360度の眺望を楽しんで貰うとともに、昔この山で大阪堂島のコメ相場をいち早く伝えた旗振りの中継基地の話をするのと共に1畳の大きさの旗を振りその様子を見て貰いました。またこの地は歴史豊かなところで一の谷合戦で有名な源義経や命を落とした平敦盛の話、また多くの歌人が訪れ残した歌碑や逸話などを語り色々な歴史の分岐点であったことを思い返しました。



午後は鉢伏山から旗振り山へ、ここからウラジロノキ、カゴノキ、イヌビワ、マルバアオダモ、カクレミノなど植物が主だって出てきました。また少ない草本でヤクシソウ、ヒヨドリバナ、オケラなどが見られました。また尾根筋を歩いているとアサギマダラが我々を迎えて道案内をしてくれました。

旗振り山では摂津と播磨の国境の話、国境に流れる境川や須磨の名の謂れ、芭蕉の「蝸牛つの振り分けよ須磨・明石」の句を鑑賞して快晴で素晴らしい明石海峡大橋を眺望し一服することが出来ました。



あとは尾根筋歩いてリョウブ、ソヨゴ、ナワシログミ、オオバヤシャブシ、クロガネモチなど常緑の樹木を確認してから妙見堂跡署名所で最後の水分補給をしました。ゴールへの下りの階段を踏みしめながら見慣れたネズミモチ、ヤブニッケイ、ソメイヨシノ、エノキ、イスノキを見て住宅街へ着きました。解散場所の公園までは車の多い住宅街なのでビジターを見守りながら歩き到着。それぞれビジターの感想をお聞きして解散しました。安全第一を心掛けた結果、事故もなく観察会を終えビジターの方の感想から概ね満足していただけたと思っています。



今回、子供連れで参加可能かの問い合わせが事前であり、お子さんには特別な説明は出来ないことを伝え承してもらいました。家族連れの対応には当班のメンバーが行いましたが各グループの進行には殆ど支障なく無事に終わりました。この家族連れのケースは今後も考えられるので対応方法や班の対生を事前に話し合っておく必要があると感じました。

観察した植物

アオツツラフジ、クサギ、イヌビワ、イタビカズラ、シャシャンボ、サルスベリ、ヒサカキ、ヤマモモ、アベマキ、カキノキ、カラスザンショウ、ニワウルシ、ムクノキ、エノキ、オオバヤシャブシ、カエデドコロ、コバノミツバツツジ、ナナミノキ、マルバハギ、ウバメガシ、ケウバメガシ、ガンピ、モチツツジ、カマツカ、ヌルデ、ヒヨドリジョウゴ、ツルボ、ヤブニッケイ、センダン、ヤクシソウ、オケラ、ウラジロノキ、ネズミモチ、トウネズミモチ、カクレミノ、カゴノキ、トベラ、ネジキ、リョウブ、ソヨゴ、クコ、イスノキ、ソメイヨシノ、キョウチクトウ、マテバシイ、ロウバイ、ハコネウツギ、ツクバネウツギ、

六甲自然案内人の会

5班 倉本敏明